

令和３年度 第１回東住吉区区政会議安心つながり部会

1 開催日時 令和４年３月１７日（木） 午後８時２０分～午後８時４７分

2 開催場所 東住吉区民ホール

3 出席者の氏名

（出席委員）

井本啓二部会長、柿本直也委員、堺 政昭委員、沼田壮人委員、藤村浩人委員

堀江 淳委員、松岡君恵委員、三原順一委員

（東住吉区役所）

中原副区長、今西事業企画担当課長、森本総合調整担当課長、西川区民企画課長

渋谷窓口サービス課長、市川保健福祉課長、松木保護課長

4 議題

1 開会

2 安心つながり部会の部会長選出

3 令和４年度安心つながり部会のテーマの検討について

4 その他

5 閉会

○森本総合調整担当課長

これから第１回安心つながり部会を始めさせていただきます。

まず部会の成立要件につきまして、過半数の出席がありますが、本日安心つながり部会に所属される９名の委員のうち８名にご参加いただいておりますので有効に部会が成立していることをご報告させていただきます。

それから、本日の配付資料ですが、次第と資料１と資料２の３点がございます。お手元に揃っておりますでしょうか。

それでは、はじめに次第がございますが、当部会の部会長の選出をお願いしたいと思い

ます。委員の皆様の互選により選任いただくことになっておりますので、どなたか立候補、またはご推薦をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

お声が無いようですので、事務局の提案としましては、井本委員にお願いしてはと思いますが、いかがでしょうか（全員異議なし）。

では井本委員に部会長をお願いしたいと思います。

簡単にご挨拶をお願いしてもよろしいですか。

○井本部会長

はい、今、部会長にご指名していただきました井本と申します。よろしくお願いします。

今回私もあまり分からない中ではありますけれど、皆様とご協力させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○森本総合調整担当課長

ありがとうございます。

今日は初めての部会ということですので、この部会で検討していただく分野が何かということについてご説明いたします。資料2を1枚めくっていただきますと第6条のところに部会の開催という項目がございます、その中に「安心つながり部会」があります。安心つながり部会では、防災・防犯・区民相互の交流活動・健康づくり・地域福祉に関する事項についてご検討いただきたいと思います。

また、部会長の役割として、この部会の資料のとりまとめや検討内容の報告等を行っていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは続きまして資料1の「安心つながり部会で議論したい検討テーマについて」をご覧ください。

まず今後のスケジュールについて、事務局案としまして、令和4年度の6月か7月に開催する全体会議と同日に、第1回部会を開催させていただき、令和4年度の部会の検討テーマを決めていただきたいと思います。そして検討テーマに関する区の取組状況がどのようなになっているのか、あるいは、追加資料を出してほしいというようなことをお聞きます。第2回部会におきまして追加資料の提出や事業説明等行わせていただき、現状をお聞きいただいた上で、提案に向けた検討に入っていただきます。そして、2回目、3回目の部会においてご検討いただき、最終的に12月に開催予定の全体会議で部会の検討結果を報告していただくという流れで考えております。

したがいまして、次回開催の令和４年度第１回部会では、検討テーマを決めていただくことになりますので、本日はこの後、大まかな方向性を決めていただきたいと考えているところです。その参考として、資料１の下のところ過去の安心つながり部会の検討テーマについて紹介させていただいております。

この間、コロナ禍の影響により、部会を直近に開催したのが令和元年度になりますが、令和元年度はマンション等集合住宅などの居住者の方々が地域コミュニティとどうやってつながっていけばいいか、ということを経験したテーマにご検討いただきました。

ご検討いただく中で、ここに記載していますように、地域活動協議会会長や連合振興町会長へのアンケート、あるいは東田辺地域へのヒアリング、中央区、北区豊崎地域に実際に出向いてのヒアリング調査等を実施しました。

検討の結果、マンション等集合住宅居住者の地域活動への参加促進についてご提案をいただきました。具体的にはマンション等集合住宅居住者が、まずは地域活動に参加するように、各地域での特色ある取組みの周知内容と周知方法を工夫する必要があるというご提案をいただいたところです。

平成３０年度は、介護・福祉施設の多い地域を選定し、地域・企業・介護がつながるセーフティネットのモデルを作ることをめざし、実際に矢田東地域をモデルに選定しまして、矢田東地域の現地視察と地域と介護施設の方々との意見交換を実施しました。

また、区の介護保険関係者へアンケートを実施し、災害発生時の地域や介護・福祉施設等との連携を深めていくための方策についてご提案をいただきました。

以上、直近につきましてはこういう形で、部会の活動をしてきました。簡単ですが、説明は以上です。何かご意見やご質問がございましたらお願いいたします。

○井本部会長

この部会で何をしていくのかということの提案をすることを決めるということが目的の会議にとらえてもよろしいですか。また、令和元年度、平成３０年度の提案は、提案した結果どうなったかというところを教えてくださいてもいいですか。

○森本総合調整担当課長

まず令和元年度につきましては、地域活動に関する広報の内容を工夫するという一方で、地域活動を紹介するチラシを作成する際は、町会に加入している、していないに関わらず、誰でも参加できるということを前面に打ち出したらどうか、また、広報を行う場所につい

て、町会の掲示板だけでなく、スーパーや企業、商店街、飲食店などにも働きかけてポスターを掲示してもらったらどうかというご提案をいただいたところですが、コロナ禍の中、実際の地域活動が止まっているということで、なかなか成果につながっていないという状況になっています。

平成30年度につきましては、地域と介護施設がつながることで、セーフティネットを作るというテーマで検討され、提案としては行政と地域の方、介護施設の方がウインウインの関係を作っていったらどうかということや、若い人に介護や地域防災に対する関心を持ってもらえるよう、若者向けの情報発信をこころがけたらどうかなどの提案をいただき、順次取り組んでいるところです。

○井本部長

ありがとうございます。

○堺委員

安心つながりといえば、矢田東連合は介護施設がものすごく増えてきています。通っている自動車は介護の車ばかりです。それに伴って施設で暮らす人が増え、課題もたくさん出てきます。施設の人たちから地域に入りたいけれど、どうしたいのかと聞いてくることもあります。私たち町会も、町会に入ってもらえたら、地域ではこういう活動をしていて参加できますというような働きかけをいろいろ行っています。

それからマンションですが、マンションの場合は、なかなか町会に入らないケースが多いです。マンションの半分以上は町会に入っていません。そこと一緒に地域活動をどのように進めていったらいいのかと思います。マンションの方とも、以前でしたら会館でお葬式をして、それがきっかけとなってつながりができました。しかし、この頃はそんなこともなくなりました。地域でお葬式をすることがなくなってきました。だからこの「安心つながり部会」で安心つながるについて検討するとなっていますが、「安心つながる」とはということか、住みよいまちにするためにはどうすればいいのか、その方法も考えないといけないと思います。

○中原副区長

今日配付させていただきました運営方針（案）の概要版ですが、運営方針が字面ばかりで分かりにくいというご意見をいただきより「見える」ように作成してみたものです。まだ案の段階なので不十分なところがあります。

大阪市ではすべての各局、各区が運営方針を策定しホームページに掲載しています。

予算につきましても、どのようにして決めているのかというお尋ねがありましたが、大阪市では数年前から予算の編成過程につきまして、この事業はどういう単価で、どのように積み上げてこの額になっているのかという予算要求調書もホームページで全て公開しています。今は何でもホームページですので、情報にたどりつくのが難しいと思われる方もおられると思います。

お手元の運営方針（案）概要版をご覧ください。予算と連動して、区として何をしたいのか目標として掲げる、「みんなで子どもを育てるまち」、「みんなが健康で安心して暮らせるまち」、「みんながつながるまちの取組みの」中で、「安心」「つながる」に関する部分について、いろいろなご意見をいただきたいというのがこの「安心つながり部会」です。また、青色部分の「子育て支援」や「教育支援」についてご意見をいただくのが「子育て教育部会」です。

部会は、これらの目標に関して区役所と委員の皆様で事業、予算の共通の方向性を共有しながら、委員の皆様の中でご議論され、頂戴したご意見、内容などを形として取りまとめていただく会議です。少し長くなりましたが、ご議論いただく「安心つながる」というのは、運営方針（案）概要版の緑とオレンジ色の部分でございます。

○三原委員

発言させていただきます。今日、昨日も東北の方で地震がありました。ちょうど11年前に大きな地震があり、それが昨日、また同じような地震が起きると、関西の方では南海トラフ地震が間近に来るという話が出てきます。もしそういう災害が起きたときに、何が一番必要なのか、ということを考える必要があります。今は大阪市から、もし災害が発生したら何万人が被災し、何軒が倒壊するといったデータは出していただいています。しかし、実際に災害が起きた時に、どうすれば安心・安全な対策ができるのかと思います。

私がいろいろ調べた結果ですが、そういうライフラインが止まった時に一番人が生きていくために必要なものは水です。水が不足しますと生活できません。水に関して言えば、今日、資料を持ってきましたが、堺市では消火栓から水を取れるようにしています。災害が発生すると行政は1週間動けません。そうすると地域で行うしかないです。地域には防災リーダーがいるので、その人たちをうまく活用して、もし水が必要となれば、消火栓のところへ防災リーダーと消防、水道局の人が一人来ればそれで水の確保ができます。

また、大阪市の場合、各地域に配水池があります。そこに水を貯めています。例えば東住吉区の場合は、平野かどこかで貯めてそれを配水しています。そして配水管が全てコンピューター化されていて、どこをどうひねったら水が出るということも、できるような体制になっているはずです。そういうような形でやれば、水が何とか確保できます。それと配水場には、必ず自家発電があります。停電になってもその配水池にたまっているタンクの容量は賄えるということです。そのうちに、電気を復活させればいいということです。そういう体制づくりが、今大阪市ではできていないように思います。私はライフラインが一番大事だと思っています。食料などはある程度皆さんに送ってきてもらえますが、水、電気そういうものの対策が必要です。特に水が一番大事ではないかと思っています。

そして、水といえば水害への備えも考えなければいけません。私の住む育和連合では昭和57年育和水害がありました。東住吉区は大和川がありますし、実際に4、5年前には台風の影響で区内に避難所が開設されました。

防災については、「水」がテーマになると思いますし、もっと力を入れていってほしいと思っています。

○森本総合調整担当課長

ありがとうございました。いろいろなご意見がでましたので、ここで一旦部会は閉じる形にさせていただきたいと思います。